

ワックンカルタで 鶴見を散歩

～海をめざして～



鶴見まちづくり推進会議

発行日：平成26年3月 事務局：鶴見区役所地域振興課 ☎045-510-1688

●「ワックン鶴見カルタ」とは
「鶴見を好きになってほしい！」鶴見の魅力
を伝える目的で、鶴見まちづくり推進会議（魅
力づくり部会街の魅力企画班）が企画しました。
平成21年度に鶴見にちなんだ読み札を公募
し、応募総数1,031から45枚を決定しました。
それぞれの読み札にあった絵札を、区民ボラン
ティアの皆さんに描いていただき、鶴見区の魅
力・鶴見らしさを織り込んだ区民手作りの「ワッ
クン鶴見カルタ」が22年度に完成しました。
そのカルタで紹介された場所の一部を、お散
歩マップにしました。

●どこで体験できるの？
鶴見区内の地区センターやコミュニティハウ
スで体験することができます。



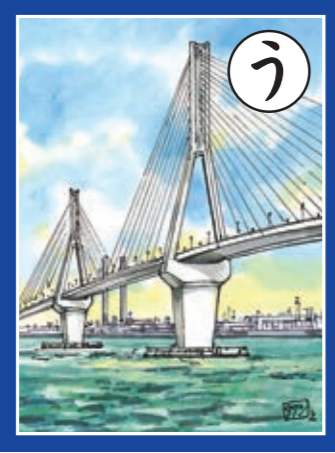
レトロの
香りのこる
国道駅

国道駅は、昭和5年（1930）に鶴見臨港鉄道の開通と同時に開業しました。大正15年（1926）に開通した国道の上には造られたので、その名が付きましました。生麦魚河岸へ続くアルノー風の駅舎は、テレビや映画にもしばしば登場しました。構内にあった港デパートでは、食品や衣料品などを販売し、多くの買物客でにぎわっていました。当時の最新技術で造られたレトロな佇まいが、今も多くの人を惹きつけています。



茶色から
黄色にかわった
鶴見線

京浜工業地帯を走る鶴見線には、平成8年（1996）3月まで、クモハ12形という戦前形国電と呼ばれた茶色い電車が走っていました。この車両は、当時日本で最古の電車で、床が木の板張りの車両でしたが、今では引退し、黄色い電車に変わりました。海の上にある海芝浦駅には、公園もあり、小さな旅を楽しむ人たちにも愛されています。



海に
はばたく
つばさ橋

鶴見には海沿いに2本の高速道路が通っていますが、その一つ首都高速道路湾岸線の扇島と大黒ふ頭とを結んでいるのが鶴見つばさ橋です。横浜ベイブリッジと並び、横浜を代表する橋で、中央径間長510mは多々羅大橋（広島県・愛媛県）、名港中央大橋（愛知県）に次いで斜張橋として国内第3位、全長1020mは一面吊り斜張橋としては世界最大級の長さです。



めざせ若者
サイエンス
フロンティア

横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校では、生命科学、ナノテク・材料、環境、情報の先端科学技術の「ほんもの体験」をし、「驚きと感動」による「知の探究」により、「世界で幅広く活躍する人間の育成」を目指しています。市大連携大学院や理化学研究所などがある京浜臨海部研究開発拠点には、知の探究のメッカになっています。



ふれーゆで
心も体も
ぽっかぽか

横浜市高齢者保養研修施設「ふれーゆ」は、「高齢者が安心していきいきと暮らせる福祉都市の実現」を目指して整備された施設です。隣接する資源循環局鶴見工場の焼却炉からの余熱を有効利用した温水プールや大浴場、温室があります。高齢者だけでなく、子どもたちにも人気のスポットです。ふれーゆから眺める夕日もきれいです。



ルビー色
夜空にきらめく
臨海部

京浜工業地帯の海辺には石油コンビナートがたくさんあり、昼夜24時間操業の工場では、夜は仕事や安全面から蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などで明るく照明をしています。石油精製工場から放出されるガスの炎も加わって、色とりどりの光に、夜空が美しく彩られています。まさに百万ドルの夜景です。